

「あらかわの心」ニュース



第13号 平成23年10月7日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会
 〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
 〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html>

「おせっかい体験談を募集しています」

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、「おせっかいおじさん・おばさん運動」の一環として、おせっかい体験談を募集します。応募作品のうち、皆さんに紹介したいエピソードを集めてリーフレットを作成します。奮ってご応募ください。

なお、リーフレットに掲載された方には、記念品を差し上げます。

■応募資格 荒川区在住・在勤・在学の方（年齢は問いません）

■募集するエピソード

●おせっかいはして良かった・嫌だった体験

●おせっかいはされて嬉しかった・迷惑だった体験

●こんなおせっかいは目撃した（自分以外の人の行為） など

■文字数 200～400字程度

■応募方法 上記事務局へ郵送または電子メールにてお送りください。

■募集期間 10月31日（月）まで

※住所・氏名・年齢を明記してください。（本文中は匿名とします）

「おせっかいおじさん・おばさん運動」とは――

今日では、「おせっかい」という言葉のイメージは必ずしも良くありません。

しかし、誰かに世話を焼くこと、支え合うことは、人が地域で生きていくために大事なことです。そこで私たちは、「他人に関心を持ちながら生きていこう」と呼びかける必要があると考えます。

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、この運動をきっかけに、普段「おせっかい」にためらいを感じている人が、勇気をもって一歩を踏み出せるよう、さまざまな啓発活動を行っています。



第3回「あらかわの心」カルタ大会を開催します

来年2月、「あらかわの心」推進運動区民委員会が作成したカルタを使ったカルタ大会を開催します。楽しくカルタで遊びましょう。入賞者にはメダルを授与します。申し込みは12月頃から、詳しくは区報等でお知らせします。

■日にち 平成24年2月4日（土）

■時間 午後1時～3時

■対象者 小学生とひらがなの読める未就学児（小学校に入学する前のお子さん）

■会場 峡田ふれあい館

荒川区荒川3-3-10



▲「第2回あらかわの心カルタ大会」の様子

「汐入まつり」に参加しました！「あらかわの心」推進運動のPR

8月7日、都立汐入公園において、リバーパーク汐入町会主催、第19回汐入まつりが開催されました。

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、会場内にブースを設け、来場者に「あらかわの心」推進運動パンフレットや「あらかわの心」ニュースを配布しました。また、「あらかわの心」カルタやピンバツ



▲カルタ大会のPRもしました

ジを販売し、推進運動の「あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り」の5つの取り組みをPRしました。今回は来年2月に開催する「第3回あらかわの心カルタ大会」の宣伝も行い、猛暑に負けにくいほどの熱気でカルタ大会への参加者を呼びかけました。



▲「あらかわの心」推進運動ブース

どじょう・うなぎつかみ大会

今回で、べるぼうと汐入商店会では12回目、「あらかわの心」啓発活動としては4回目になります。地元のリバーパーク汐入町会では、「安全、安心な町」、住んでよかったと思う町、自分の故郷と呼べる街づくりを進めています。商店街は町の中心で、町の中心的存在であり、商店街の活性化無くしては町の活性化はあり得ないとの考えから、町会との関係も良好です。「どじょう、うなぎつかみ」は、町会、南千住警察署、荒川消防署、荒川消防団第一分団の協力のもと、車道に7m×30mのブルーシートのプールを2つ作り、どじょう1万匹、うなぎ50匹、カラーボール3千個を放流し、子ども達ばかりか大人にも大人気です。ただし、参

加するには色々なまじりを守らなければなりません。これはまさに「あらかわの心」の趣旨にぴったりです。競技中の放送の中でも、折にふれ「あらかわの心」を紹介し、推進運動に努めました。（「あらかわの心」幹事 岡本 宮雄）



▲「それっ、つかめ！」



心の東京革命とは、次代を担う子どもたちに対して、親と大人が責任をもって正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上で当然の心得を伝えていく取組です。

「あらかわの心」カルタを 田野畑村の子どもたちと一緒に!



「あらかわの心」幹事会の有志は、東京荒川ライオンズクラブ、ひぐらしの里ライオンズクラブ、リンズの会、荒川区少年団指導者連絡会の4団体とともに東日本大地震で被害を受けた若手県下閉伊郡田野畑村へ9月23日から25日までの間訪れました。3月11日の大地震で尊い命や家財を失った田野畑村の一日も早い復興を願い、「あ

らかわの心」大型カルタ大会や炊き出しなど、現地の子どもたちを激励する交流事業を実施しました。きっかけとなったのは、日暮里で生まれ育った作家の吉村昭氏の代表作の一つ「三陸海岸大津波」で田野畑村が紹介されていたこと。また、6月に行われた「子どもオリンピック」で大型のカルタ取りをした時の子どもたちの喜ぶ姿がとても印象的だったので、カルタで田野畑の子どもたちにも元気を分けてあげたいと話合ったことでした。

当日は、大勢の方が参加され、カルタ大会も大いに盛り上がりました。「あらかわの心」カルタを通じて、子どもたちに復興に向けて共にならばろうとエールを送ることができたと思っております。

「あらかわの心」幹事
川田 和子



「子どもオリンピック」

当初は、3月11日の東日本大地震の翌12日にもオリンピックを開催する予定でした。しかし、あのような状況では中止にしなければなりません。いろいろな行事が自粛することになり、地域のお祭りも取り止めになりました。三ヶ月が経過し、すでに準備はすべて整っていたので6月5日の祭礼の日に開催することにしました。

会場の生涯学習センターでは、暗算徒競走、タイヤ引きレース、スリッパ飛ばし、「北島康介の記録に挑戦」、チヨロレース、「あらかわの心」カルタ取りなどが繰り



▲「北島康介の記録に挑戦」

広げられ、最後には全員で「うちわでバス」の種目を行いました。参加者12名、スタッフ130名、第四中学校の生徒17名らの協力もあってとても盛り上がり、無事事故もなく終えることができました。

「あらかわの心」幹事 安部 義治

あらかわ生涯スポーツフェスティバル2011

「親子で体力アップ」

8月7日、荒川総合スポーツセンター大体育室および小体育室にて「親子で体力アップ推進事業」が開催されました。

低下している子どもたちの体力の向上や運動不足解消のきっかけ作りにと5年前に始まり、今回も区内の親子27名の参加申込みがありました。

当日は、体育協会加盟団体、体育指導委員会、レクリエーション協会など84名が企画、運営に当たりました。競技では、小体育室でドッチビー、大縄跳びを、大体育室ではトランポリン、カローリング、玉入れ、ミニテニス、ストラックアウト、ゴールキック、バスケットボールシューティング、「スビードボールに挑戦」、「キンボールで遊ぶ」等、ふだん体験できない興味深い種目に、親子でチャ



▲ドッチビーのストラックアウトに熱中!!

レンジしていただきました。冷房の効いた会場に熱気があふれ、大きな歓声が沸きあがっていました。

最後はお楽しみ抽選会があり、全員に素敵なプレゼントが手渡されました。スポーツの楽しさ、体を動かすことの喜びを体験した一日でした。子どもたちにとっても夏休みの楽しい思い出になったことでしょう。

「荒川区体育指導委員
三ツ山 純子



「歩け歩け運動」

荒川区高齢者クラブ連合会では、毎月第四木曜日に「歩け歩け運動」を実施しております。山吹ふれあい館を起点に、荒川自然公園をひと回りにして山吹ふれあい館に戻るコースです。時間にして1時間30分、距離にして4キロのコースです。

健康づくりの一環として、また引きこもり気味のお年寄りのお誘いなどを心がけて実施しております。四季折々の草花の観賞、楽しい会話などで、参加されている皆さんは生き生きと「歩け歩け運動」を楽しんでいます。よろしければ、



▲荒川自然公園を散策中

大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。

「荒川区高齢者クラブ連合会
長谷川 敏男

「荒川消防少年団 キャンプ」

8月6・7日、荒川消防少年団は西多摩郡檜原村にて、11名の団員と15名の引率者でキャンプを実施しました。キャンプの前に、私たちは立川にある航空消防隊基地へ行き、消防ヘリコプターの見学を行いました。

キャンプの目的としては、自然にふれあうことと共同生活の中で団員同士が協力し、自分の役割を果たすこと、そしてふだんの生活から離れた、自然の中での生活の仕方を自分自身で考えることでした。野外生活として川遊びを行うと同時に水の危険性を、キャンプファイアーではふだんの生活で利用している火の危険性を学びまし



▲消防ヘリコプターの前でポーズ

た。近くに山があったので、早朝には虫取りを体験するなど有意義な活動ができました。

「荒川消防少年団 須貝 倫大



「クリーンキャンペーン」

レインボー子ども会は、7月18日、たいへん暑い日ではありますが、尾久地域でクリーンキャンペーンを実施いたしました。大人や子どもたち35名が荒川遊園前に集合し、近辺のゴミを拾い集めました。自分たちの街をきれいにしようという意気込みが、暑さも忘れさせてくれました。こうして気持ちのいい汗を流した後で、足立区の舎人公園へ行き、バーベキュー大会で盛り上がりました。その

あと、水遊びを楽しんだり、東日本震災の募金活動も行うなど充実した夏の日を過ごしました。

レインボー子ども会は、今年で三十周年を迎えます。これから、



▲街がきれいになりました

いろいろな周年事業を展開しますので、次号ではご報告したいと思います。

「レインボー子ども会
山崎 律子